

ビルメンテナンス業の 労働災害を防止しよう!!

群馬労働局 労働基準部 健康安全課

群馬労働局管内における休業4日以上の労働災害による死傷者数のうち、ビルメンテナンス業は、中長期的には増減を繰り返しており40人前後で推移しています。

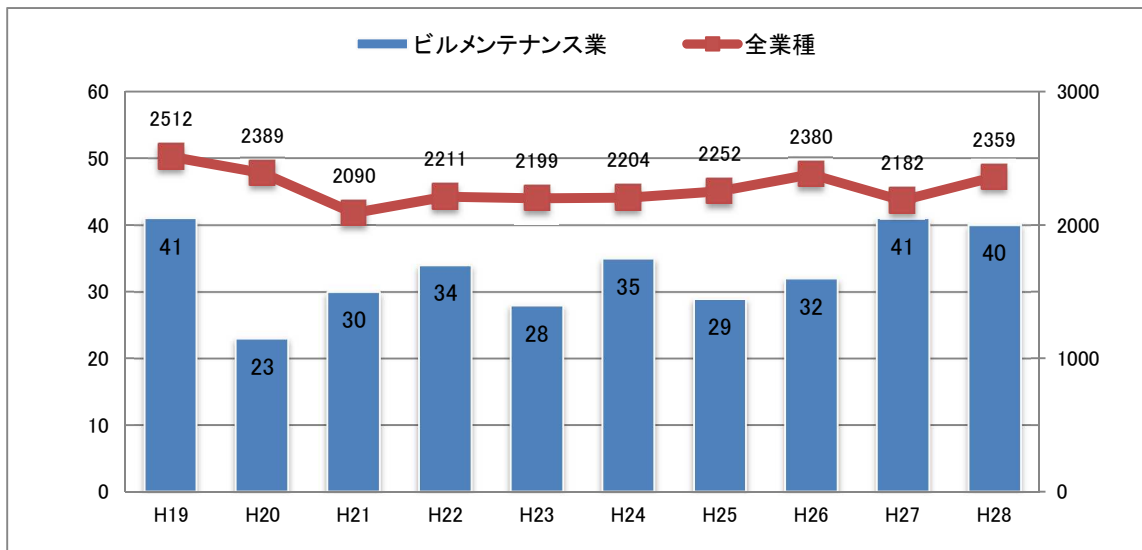


図-1 全業種及びビルメンテナンス業における労働災害発生年別推移
資料:労働者死傷病報告

ビルメンテナンス業では、**転倒災害**が最も多く、次いで墜落・転落災害が多くなっています。

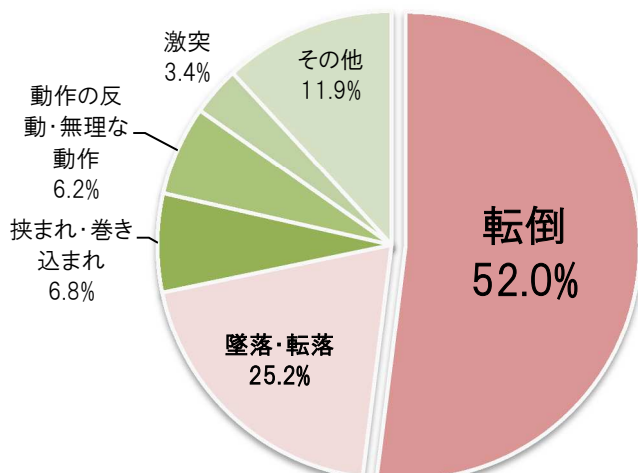


図-2 ビルメンテナンス業での事故の型別労働災害発生状況
(平成24年～28年の合計) 資料:労働者死傷病報告



ビルメンテナンス業の被災者は、50歳以上が8割近くを占め、また、経験期間が3年以内の被災者が5割を占めています。重症度も高く、休業見込み1か月以上の災害が6割を超えています。

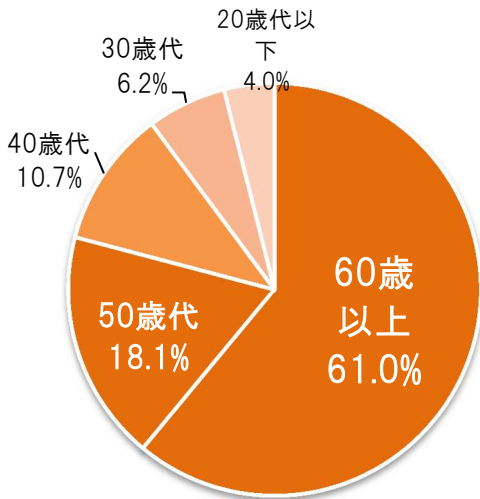


図-3 ビルメンテナンス業での年代別労働災害発生状況
(平成24年～28年の合計)
資料:労働者死傷病報告

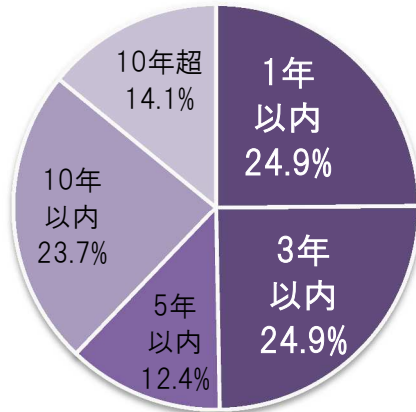


図-4 ビルメンテナンス業での経験期間別労働災害発生状況
(平成24年～28年の合計)
資料:労働者死傷病報告

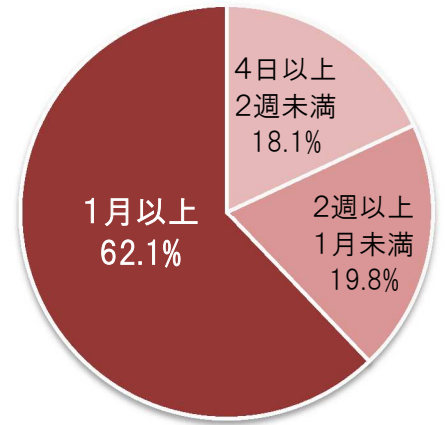


図-5 ビルメンテナンス業での災害程度(休業見込日数)別労働災害発生状況(平成24年～28年の合計)
資料:労働者死傷病報告

通路の整備や安全行動の徹底により 労働災害を防止しましょう!!

転倒防止対策 ◎4S(整理・整頓・清潔・清掃)の徹底

- ・作業靴は滑りにくいものを履く。
- ・清掃用具類は、廊下、階段等に乱雑に置かない。
- ・床に残ったり、こぼれた水は、きれいに拭き取る。
- ・洗浄した床は、乾くまで立入りを禁止する。

墜落・転落防止対策

- ・高所作業(2m以上)では安全帯を使う。
- ・高所での作業をなくすよう高所用ワイパーや伸縮ポールなどを活用する。
- ・椅子を踏み台として使用しない。 ・踏み台、脚立は安定させて使う。

腰痛予防

- ・荷は、出来るだけ身体に近づけて持ち上げる。
- ・机等重い物は、無理をせず、複数人で運ぶ。
- ・中腰など無理な姿勢での長時間の作業を行わないようにする。
- ・重量物の運搬作業の前には、腰痛予防体操を行う。